

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年2月25日  
学校法人ひまわり学園  
ひまわり幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・美しいものに感動できる子ども ・自分の考えや発見を表現できる子ども
  - ・友だちと協力して意欲的に行動できる子ども ・個性豊かで創造的な子ども
- 出会いを通じて子どもに強く優しく生きる力を育みます  
この時期に身に付けておかなければならない生活習慣、基礎教育を大切にしています

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、一人一人の幼児を大切にしたい質の高い教育の実践を目指す。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	A	平成29年より幼児の姿や遊びの記録をもとに、教職員が定期的に話し合い、ねらいや内容の見直しを行った。(平成30教育要領改訂)
2	教育の質の向上のために、園内研修を充実させる	A	写真やエピソードを通して幼児の育ちを語り合う学年での話し合いや研修を実施した。その結果、幼児理解が深まり同僚性も育まれた。(Ipod導入)
3	特別に支援が必要な子への、家庭や関係機関との連携	A	特別支援コーディネーターを配置し、家庭や関係機関との連携をすることで、支援の理解を深めかわることができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人一人の幼児を大切にしたい質の高い教育を実践することができた。また、さらなる質の向上に向けた課題も明確になった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境	園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境構成に取り組む。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。
3	幼小接続	幼稚園と小学校の教師が共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

幼稚園児の日頃の様子や教育の展開が確認できた。また、小学校との接続を見据えた教育が確認でき、アプローチカリキュラムだけではなくスタートカリキュラムの重要性も話し合うことができた。評価項目等の説明や保育を参観し、幼稚園の教育目標のもときめの細かい教育が実践されていた。今後も定期的に確認していきたい。